

倉庫リノベーションを推進

イーソーコ

物流不動産Bizにも注力

イーソーコ(遠藤文社長、東京都港区)は、空き倉庫を改装してオフィス、店舗、スタジオなど他用途へコンバージョンする「倉庫リノベーション」、倉庫を最大限に活用する「物流不動産Biz(ビジネス)」の研修やセミナーの開催などにグループ一体となって取り組んでいく。

(山上 隼人)

同社は、ここ数年はマルチテナント型の大型物流施設の供給が続くとみており、玉突き現象が更に加速



倉庫リノベーションでバレエスタジオに改装

していくと予測。中小の物流施設に空きが発生し、「物流企業にとっては荷主の確保が厳しくなっていくのではないか(遠藤社長)と懸念している。

こうした事態に対応するため、倉庫の新たな活用方法として倉庫リノベーションを推進。大型物流施設の建設ラッシュと貨物量の減少が進む中で、荷主を確保しようとする競合に陥りがちだが、倉庫をオフィスなど他の施設へ改装することで、他業種にも提案できるようになる。

実際に手掛けた例では、1990年代に一世を風靡(ふうび)したディスコ「ジュリアナ東京」跡地を

昨年、オフィスへと改装し、日経ニューオフィス推進賞(ニューオフィス推進協会主催)を受賞。同所は2007年にもリノベーションで受賞しており、同じ建物で2度受賞したのは初めてという。これは、大空間を活用し、スペースを自由に創造できたことが要因となった。このほかでは、大型

ワイン庫と試飲サロンを備えた二体型オフィス、フラワーサロン、撮影スタジオといった用途への改装も手掛けている。

また、物流不動産Bizの研修やセミナー、勉強会の開催などに注力していく。昨年9月から、東京西濃運輸(小林幸雄社長、荒川区)で選抜された若手社員2人を預かり、半年間の研修を実施。早くも倉庫の仲介を成功させるなど、物流不動産の営業担当者として実績を積んでいる。

一方、日本最大級の物流不動産ポータルサイト「イーソーコ.com」を管

理・運営するイーソーコドットコム(早崎幸太郎社長、港区)は、全国のパートナー企業であるASP(アプリケーション・サービス・プロバイダー)企業の新規拡大とIT(情報技術)を利用した物流不動産営業の確立を目指す。

ITを活用した情報の共有化と組織的営業が重要となるが、イーソーコが進める物流不動産Bizの研修と緊密に連携。ITシステムについては、イーソーコドットコムがテストを行った上で良いものを提案し、ASP企業の営業力強化に貢献していく。

また、物流不動産Bizの研修やセミナー、勉強会の開催などに注力していく。昨年9月から、東京西濃運輸(小林幸雄社長、荒川区)で選抜された若手社員2人を預かり、半年間の研修を実施。早くも倉庫の仲介を成功させるなど、物流不動産の営業担当者として実績を積んでいる。

一方、日本最大級の物流不動産ポータルサイト「イーソーコ.com」を管